

令和4年度「山形県環境保全推進賞」受賞企業のご紹介

◇山形県知事賞《取り組み内容が特に優れていると認められるものに、大賞として授与》

株式会社メカニック（酒田市）

【水田営農型太陽光発電事業を通じたSDGsの取り組み】

令和3年5月、庄内初の営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）「ひらた石橋ソーラーファーム」の運転を開始しました。地球温暖化による環境変化、中山間地域の人口減少の緩和、食料自給率の維持と改善の3点に取り組んでいます。

固定価格買取制度の売電益は、地域に還元することを目的とし、災害時に活用できる非常用コンセントを備えた街路灯を設置しました。また、見学の受入れやSDGsセミナーを開催するなど、啓蒙活動を行っています。

令和3年4月から「再エネ100宣言RE Action」に参加し、再エネ率100%を達成しています。その他、「最上川クリーンアップ作戦」「小さな親切の会クリーンアップ作戦」に全社員が参加し、地域のボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。



ひらた石橋ソーラーファーム
「ソーラーシェアリング」



R4.5.7 ひらた石橋ソーラーファーム
児童養護施設の皆さんと行った田植え



クリーンアップ作戦



山形のSDGsについてソラシドと
トークセッション・現地視察

山形日産グループ（山形市）

【次世代モビリティの積極提案と森づくりを通じた地域貢献】

山形日産グループは、電気自動車を普及させて地球温暖化に歯止めをかけること、自動運転化を促進することで交通事故を減少させることに取り組んでいます。

平成29年度からは「ニッサンの森」として、県、朝日町と協定を結び、森林保全活動に取り組んでいます。

令和2年度には、山形市、尾花沢市、酒田市、鶴岡市と災害連携協定を締結し、山形市では、市内の公民館にV2Hシステムを寄贈するとともに、災害等の停電時に、電気自動車から公民館へ電気を供給するシステムを構築しました。

また、県庁前に電気自動車用急速充電器を設置し、その運用と普及啓発活動を実施している他、自動車リサイクル部品を使用した「やまがた高校生ロボットコンテスト」の開催、自動車環境マイスター制度に積極的に取り組みエコドライブを普及する活動も行っています。



ニッサンの森活動集合写真



電気自動車を活用したまちづくり



山形市との災害連携協定



高校生ロボットコンテスト

(順不同)

◇環境保全推進賞

ミドリオートレザー株式会社（山形市）

【脱炭素社会の実現に向けた、工場生産時のCO2削減活動】

工場内の蒸気配管における不要経路の縁切り、取り回し変更、給湯方法の変更等による重油使用量の削減や、電動機の高調波対策による使用電力の効率化、太陽光発電の設置による電気購入量の削減に努めました。また、全社員へ毎月のエネルギー使用量、廃棄物量、リサイクル量の報告、周知や各部署担当者との定期的なエネルギー使用等に関する情報共有や、電気機器へのタイマー機能の導入等、各部署独自の活動に取り組んでいます。その他、毎年定期的に会社周辺や河川敷の清掃活動を行っています。



太陽光発電



ゴミ拾い



空調からダクトで各作業者へ



自動車用高級皮革、ランドセル用皮革の製造などを行っています。

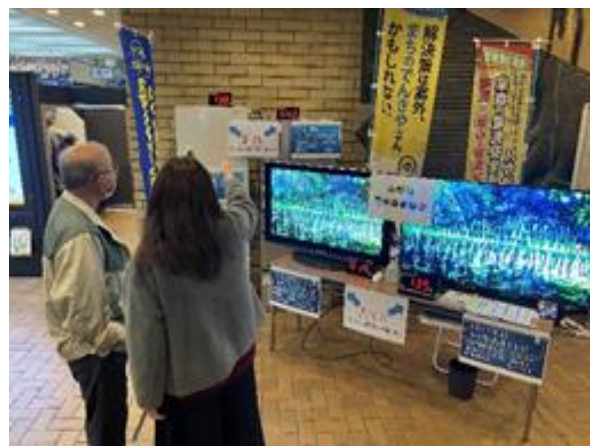
山形県電機商業組合（山形市）

【カーボンニュートラル実現への省エネ家電普及活動】

平成17年度に組合員を対象に、地球温暖化防止、省エネルギー、グリーン購入等の情報を消費者に提供し、消費者がより環境負荷の少ない製品を適切に選ぶことができるように促す店頭販売員「環境マイスター（家電部門）」の養成研修を、全国で初めて実施しました。現在は環境マイスターが中心となり、省エネ出前講座の開催や環境イベント等でのブース出展を行っています。また、5つ星省エネ家電への買い替えを促進する事業や省エネルギー方法の普及など「電気屋さん地球を救う！」をスローガンに活動しています。



環境展出展



山形まるごと COOLCHOICE 事業に参加し
新旧テレビの消費電力の違いを説明



環境マイスターフォローアップ研修



店頭にて統一省エネラベル表示
消費者へ分かりやすくアドバイス

（順不同）

◇選考委員特別賞《自主的な環境保全及び創造活動が特に顕著であると認められるものに授与》

株式会社小島洋酒店（山形市）

【屋根にコケを設置し、エアコンの要らない倉庫を実現】

令和元年に、山形物流倉庫の屋根にコケボードを敷くことで、エアコンのいら
ない倉庫を実現し、省エネ対策を行いました。コケボードは、厚さ5cmの断熱材
と組合わせているもので、断熱効果に優れ、二酸化炭素排出量の削減や熱中症対
策につながっています。コケボードを開発した株式会社モス山形と連携し、温度
計を設置して測定した結果、外気温度が36℃の場合、室内温度が7℃も低いとい
う結果が得られ、涼しさが実証されました。コケという自然の力を利用して倉庫
内の温度上昇を抑え、結果としてエアコンのいらない倉庫が実現し、社員の働き
やすい環境をつくることができました。



山形物流倉庫



山形物流倉庫の屋根にコケボードを設置



倉庫内



エアコンのいらない倉庫が実現しました

◇◇◇ 山形県環境保全推進賞とは ◇◇◇

山形県環境保全協議会が、経済と環境との両立の理念のもとに、先駆的で優れた
環境保全活動等に取り組む県内の企業、その従業員の方々を顕彰するものです。

平成11年度に創設され、今回で24回目の表彰となります。